

経営者のための生命保険講座 第28回

生命保険見直し術 「入院費用について」



カレンダーもはや残り一枚となり皆が慌ただしさを増す師走の時期になりました。この忙しく、またいろいろ入り用な時に病気になったりしたら大変ですが、では実際入院となるといったいいくらかかるのでしょうか確認してみましょう。

◆ しるびよる成人病の影

日本人の死亡原因のトップ3はがん、脳血管疾患、心疾患ですがこの三大成人病で実に6割のひとがなくなり、また入院期間も下記のように長期にわたりますので何らかの準備が必要でしょう。

●死因別にみた死亡率（平成8年度）

第1位	悪性新生物	30.3%
第2位	脳血管疾患	15.7%
第3位	心疾患	15.4%
第4位	肺炎・気管支炎	7.9%
第5位	不慮の事故	4.4%
その他	自殺・肝硬変等	26.3%

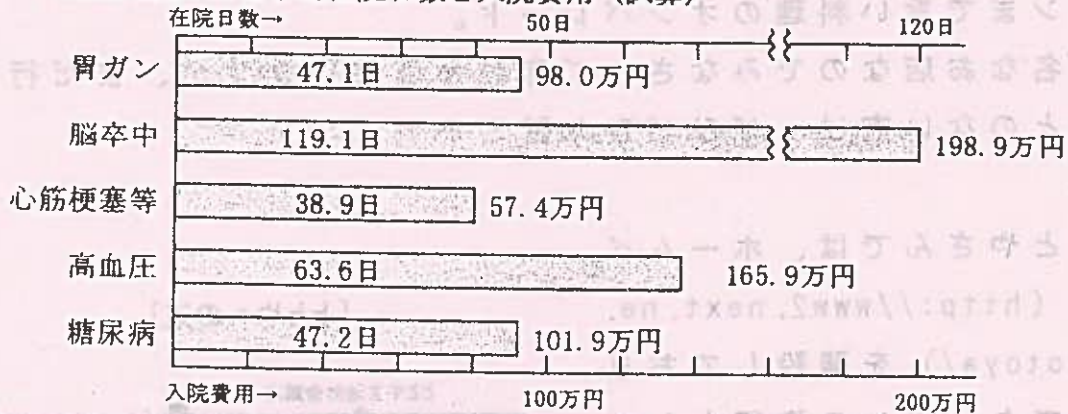
●入院日数（平成8年度）

35～64歳	悪性新生物	31.0
	心疾患	19.7
	脳血管疾患	77.9
65歳以上	悪性新生物	41.9
	心疾患	50.0
	脳血管疾患	134.4

（厚生省「人口動態統計概況」）

（厚生省「患者調査」） 単位：日

●成人病による平均在院日数と入院費用（試算）



(注) 入院費用 = $\frac{\text{入院治療費(1日あたり)}}{\text{推計入院患者数(1日)}} \times \text{平均在院日数}$

費用は医療保険等の給付分を含めた治療費の総額で、差額ベッド料等は含みません。このほか、保険適用外の医療費、入院時の諸雑費等が必要です。

※厚生省「国民医療費」（平成7年度）、「患者調査」（平成8年度）よりセールス手帖社が試算

以上ほんの少しですが入院費用についてご説明させていただきました。成人病は習慣病ともいわれ普段の生活を健康的に過ごすことが大切ですがそれと併せていざという時の備えを医療保険等で準備しておくことも必要でしょう。保険の相談はお気軽に当事務所まで。



担当 渋谷 洋子